

コラム「はせぶら」

東浦には意外と知らない名所がたくさんある…そこで!

歴史に思いを馳せながら町内全6地区を「ぶらり」広報情報課の職員がめぐります。

東浦町の歴史に思いを馳せる

はせぶら

藤江編

尾張と三河を結ぶ渡船場



衣ヶ浦藤江越し跡



衣ヶ浦藤江越し跡付近からみた対岸の高浜市

東浦町は東に尾張と三河をわける境川や衣浦湾をはさんで刈谷市、高浜市を対岸にのぞむ。平成大橋、衣浦大橋が開通する前、尾張と三河はどのように行き来をしていたのだろうか。

尾張と三河を結ぶ場所はいくつかあったようだが、その一つである「衣ヶ浦藤江越し跡」までぶらりと歩いてみた。昭和57年、鍋屋新田排水機場の隣に「衣ヶ浦藤江越し跡」の碑が建てられた。そこには、昭和31年に衣浦大橋が開通する以前、衣ヶ浦藤江越し跡から220メートル東に尾張と三河を結ぶ渡し船の発着する場所(渡船場)があったと刻まれている。



高浜市の藤江渡し記念碑

「衣ヶ浦藤江越し」には、藤江と吉浜(高浜市)間を約6分間で結ぶ渡し船があった。船は定員28人、幅1・65メートル、長さ8.5メートルで、1日の乗降客は70〜80人だったようだ。ここは、三河、藤江、さらには阿久比、大野港(常滑市)を通じて伊勢湾を渡る街道の役目をしていた。

調べていくと毎日多くの人々が渡し船で尾張と三河を行き来し、買い物・通勤・旅行などに利用していたことが分かった。境川・衣浦湾を挟んで、遠くに感じる三河は、渡し船によって約6分で行ける身近なお隣さんだったようだ。

対岸の芳川町(高浜市)では毎年10月に「芳川渡し場まつり」が開催され、「藤江渡し」の記念碑も建てられ



高浜市の藤江渡し記念碑からみた対岸の東浦町

ている。当時は衣浦湾を挟んでの縁談話も多く、嫁入り船としても利用されていたという。多くの人が利用し、出会いと別れがあった衣ヶ浦藤江越しは様々なドラマがありそうだ。そんなことに思いを馳せながら歩くのもおすすめです。(F)

参考:

東浦町観光協会
観光案内
だんつくの里・
藤江地区コース

高浜市
ホームページ
撮っておきの
たかほま一覽

